

第4学年郷土学実践事例

単元名

高月の名所・名物を調べよう

単元目標

- ①高月の名所・名物を調べ、郷土についての関心を高める。
- ②名所・名物調べを行うことで、郷土について理解し、郷土を愛する気持ちを持つ。
- ③仲間と協力をして学習を進める。

単元について



自分達が住んでいる高月については、今まで3年生・4年生の社会科や総合の時間で学習している。本単元では、学習した中で、さらに関心があり、もっと調べてみたいことにしぼり、追求していく活動をする。自分の足でその場を訪れたり、名物を作っている人に聞いてみたりと活動する中で、自分達の故郷高月に対する誇りと愛着を持つことができるようにする。

単元計画



- ① 高月の名所・名物を考える。(1 / 4)
- ② 自分をもっと知りたいことを決め、調べる。(2・3 / 4)
- ③ 調べたことを発表する。(4 / 4)

単元の流れ

通程	学習内容	学習活動	教師の支援・児童の様子
	1. 高月の名所・名物にどんなものがあるか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生・4年生の社会や月っこタイムで学習したことを思い出す。 ・家の人から聞いたり、友だちとの話にてでくる場所・物を考える。 	
	2. 自分をもっと調べてみたいことを決め、グループごとに調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような方法で調べたらよいか考える。 	<p style="text-align: center;">インターネット・パンフレット 聞き取り・インタビュー 図書の本 など 適切な調べ方を支援する</p>
	3. 調べたことを、発表する。 (学習参観で、保護者も一緒に聞く)	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを発表する。 ・講師を招き話を聞く。・・・高月観音の里歴史民俗資料館・・・佐々木悦也先生 	

授業の観点

- 高月の名所・名物について、興味・関心をもっているか。
- 高月の名所・名物について、自ら探求したい事柄を見つけ、学習に取り組んでいるか。
- 仲間と協力し、学習活動に取り組んでいるか。

子どもの変容・指導の成果

学習の始めに、みんなで高月の名所・名物をあげていった。普段、特別意識していなかった高月町内に、たくさんの自慢できる名所・名物があることに改めて気がついた様子だった。社会科で学習した「西野水道」についても、もっと追求したいという子どもも出てきた。グループに分かれて、それぞれ調べ学習を進めたが、十分な時間が保障できなかったのは残念であった。しかし、名所の中の一つにあがっていた「高月観音の里歴史民俗資料館」から講師として佐々木先生にきてもらい、資料からだけではわからなかったことや、疑問に思っていたことなど詳しい話が聞け、高月町への理解が一層深まったように思う。

課題

- ・全4時間では子ども達の活動を十分満たすだけの取り組みが難しい。自ら探求したい事柄があっても、深めていくには時間不足であった。
- ・子ども向けの資料が少なく、資料を読みこなしていくのに手間取った。

外部講師・地域連携

高月観音の里歴史民俗資料館
佐々木悦也 氏